

平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ピックルスコーポレーション
 コード番号 2925 URL <http://www.pickles.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 荻野 芳朗
 (氏名) 蓼沼 茂

TEL 04-2998-7771

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	5,347	13.9	11	△92.2	35	△78.2	14	△83.5
22年2月期第1四半期	4,693	—	141	—	164	—	87	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年2月期第1四半期	2.25	—
22年2月期第1四半期	13.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年2月期第1四半期	12,452	5,392	43.3	843.20
22年2月期	11,992	5,445	45.4	851.29

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 5,392百万円 22年2月期 5,443百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年2月期	—	—	—	10.00	10.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	10,173	8.4	365	6.0	408	6.9	195	△8.9	30.59
連結累計期間	19,555	7.2	623	16.1	670	14.9	330	2.6	51.70

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	6,398,000株	22年2月期	6,398,000株
② 期末自己株式数	23年2月期第1四半期	3,226株	22年2月期	3,226株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	6,394,774株	22年2月期第1四半期	6,394,774株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により上記の業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照してください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、好調なアジア地域への輸出に加え、設備投資、住宅投資が持つ直しつつあり、失業率は依然として高水準にあるものの、緩やかな回復基調が続いております。

食品業界におきましては、生活防衛意識の高まりによる低価格化が進展する一方、「食の安全・安心」や「こだわり」に対応した品質の高い商品も求められており、消費者の志向が2極化する傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループは、好調な「ご飯がススム」キムチシリーズを核とした既存得意先への拡販や新規取引先の開拓のため、テレビCMの放映や売場提案による販売促進活動を実施する等、全国の製造・販売拠点を活用した積極販売を実施いたしました。

製品開発面では、「ご飯」をキーワードとした惣菜製品「ごはんおかわり!!」シリーズ、チーズやワインに合う程良い甘みとすっきりとした酸味が特長の「チーズとワインとピクルス」シリーズ等、新規分野でのナショナルブランド商品の開発、販売を行いました。

製造面では、関西地区の生産能力増強を図るため、子会社である㈱ピクルスコーポレーション関西の新工場建設を行い、4月より稼働を開始した他、既存工場においても新規設備の導入を行い、キムチ生産の能力増強を図りました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高は、「ご飯がススム」シリーズの量販店等での売上増加により5,347百万円(前年同四半期比13.9%増)となりました。利益につきましては、春先の天候不順による原料野菜の仕入価格高騰、テレビCM等による広告宣伝費の増加、関西地区新工場稼働による費用増加等により、営業利益11百万円(前年同四半期比92.2%減)、経常利益35百万円(前年同四半期比78.2%減)、四半期純利益14百万円(前年同四半期比83.5%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて460百万円増加し、12,452百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金と建物及び構築物の増加によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて512百万円増加し、7,059百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて52百万円減少し、5,392百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ255百万円減少し、628百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、28百万円(前年同四半期は45百万円の増加)となりました。収入の主な要因は仕入債務の増加であり、支出の主な要因は売上債権の増加と法人税等の支払額であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、191百万円(前年同四半期は536百万円の減少)となりました。主な要因は有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、93百万円(前年同四半期は404百万円の増加)となりました。主な要因は長期借入金の返済による支出と配当金の支払額によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の業績予想につきましては、平成22年4月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	628,112	883,993
受取手形及び売掛金	2,247,051	1,941,935
商品及び製品	129,147	88,148
仕掛品	33,839	32,455
原材料及び貯蔵品	171,278	125,089
繰延税金資産	46,487	49,292
その他	53,364	79,224
貸倒引当金	△3,886	△3,774
流動資産合計	3,305,394	3,196,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,437,303	4,972,565
減価償却累計額	△3,523,575	△3,488,905
建物及び構築物(純額)	1,913,727	1,483,660
機械装置及び運搬具	2,485,088	2,381,627
減価償却累計額	△1,940,755	△1,944,746
機械装置及び運搬具(純額)	544,333	436,881
土地	5,897,684	5,897,684
リース資産	49,764	6,434
減価償却累計額	△908	△76
リース資産(純額)	48,855	6,357
建設仮勘定	—	254,275
その他	132,330	131,105
減価償却累計額	△113,045	△111,700
その他(純額)	19,284	19,404
有形固定資産合計	8,423,885	8,098,264
無形固定資産		
投資その他の資産	38,630	41,153
投資有価証券	298,046	304,299
繰延税金資産	293,218	258,711
その他	295,819	296,384
貸倒引当金	△202,804	△203,106
投資その他の資産合計	684,279	656,287
固定資産合計	9,146,795	8,795,705
資産合計	12,452,190	11,992,070

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,069,663	1,611,590
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	210,568	119,782
リース債務	9,179	965
未払法人税等	46,460	202,480
賞与引当金	36,162	88,731
役員賞与引当金	—	23,600
その他	1,048,874	773,031
流動負債合計	4,270,907	3,670,179
固定負債		
長期借入金	1,904,926	2,032,568
リース債務	42,750	5,710
繰延税金負債	1,246	975
退職給付引当金	234,699	230,017
役員退職慰労引当金	102,238	99,958
負ののれん	493,232	502,429
その他	9,867	5,102
固定負債合計	2,788,959	2,876,761
負債合計	7,059,867	6,546,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	740,900	740,900
資本剰余金	669,100	669,100
利益剰余金	3,990,388	4,039,941
自己株式	△1,334	△1,334
株主資本合計	5,399,053	5,448,606
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,978	△4,798
評価・換算差額等合計	△6,978	△4,798
少数株主持分	247	1,321
純資産合計	5,392,322	5,445,129
負債純資産合計	12,452,190	11,992,070

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	4,693,166	5,347,182
売上原価	3,673,848	4,280,691
売上総利益	1,019,318	1,066,491
販売費及び一般管理費	877,668	1,055,453
営業利益	141,650	11,037
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	300	290
負ののれん償却額	9,385	9,385
受取賃貸料	4,287	4,287
容器リサイクル費用返戻金	12,716	13,297
その他	7,292	7,957
営業外収益合計	33,981	35,217
営業外費用		
支払利息	8,779	8,609
持分法による投資損失	2,127	1,734
営業外費用合計	10,906	10,343
経常利益	164,725	35,912
特別利益		
補助金収入	—	2,065
特別利益合計	—	2,065
特別損失		
固定資産除却損	1,057	8,349
特別損失合計	1,057	8,349
税金等調整前四半期純利益	163,668	29,627
法人税等	75,666	16,306
少数株主利益	732	△1,074
四半期純利益	87,269	14,394

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	163,668	29,627
減価償却費	67,950	83,086
固定資産除却損	1,057	8,349
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	879	△189
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50,703	△52,569
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,800	△23,600
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,075	4,682
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,320	2,280
負ののれん償却額	△9,385	△9,385
持分法による投資損益 (△は益)	2,127	1,734
受取利息及び受取配当金	△300	△290
支払利息	8,779	8,609
補助金収入	—	△2,065
売上債権の増減額 (△は増加)	△360,793	△305,115
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,093	△88,572
仕入債務の増減額 (△は減少)	294,237	458,073
その他	101,511	124,105
小計	154,531	238,760
利息及び配当金の受取額	720	710
利息の支払額	△9,541	△8,764
法人税等の支払額	△100,154	△202,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,555	28,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△529,250	△219,798
無形固定資産の取得による支出	—	△1,631
補助金による収入	—	29,553
投資有価証券の取得による支出	△9,419	△978
投資有価証券の売却による収入	1,500	1,500
その他	379	116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△536,791	△191,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	—
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△142,856	△36,856
リース債務の返済による支出	—	△831
配当金の支払額	△52,739	△55,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	404,404	△93,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△86,830	△255,880
現金及び現金同等物の期首残高	453,965	883,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	367,134	628,112

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。